



<<<<< 目 次 >>>>>

第24回日本がん検診・診断学会総会の開催にあたって 1

各学会からのTOPICS

第24回日本がん検診・診断学会総会の開催にあたって

会長 森山光彦 (日本大学医学部内科学系消化器肝臓内科学分野 教授)

このたび第24回日本がん検診・診断学会総会を平成28年9月16日(金)、17日(土)、日本大学会館(東京都千代田区九段、最寄り駅:市ヶ谷徒歩数分)において開催いたします。第11回がん検診認定医講習会及び試験は9月17日(土)9時30分より行います。

この歴史ある日本がん検診・診断学会の会長を務めさせていただくことを大変光栄に感じております。

過去に本総会会長として日本大学から、第5回会長を荒川泰行先生(消化器肝臓内科学講座)、第11回を小野良樹先生(消化器肝臓内科、総合検診センター長)、第18回を麦島秀雄先生(小児科学講座)が会長を担当されておられます。

日本がん検診診断学会は、平成3年に「日本消化器集団検診学会」有賀槐三理事長の呼びかけで「日本婦人科がん検診学会」「日本肺癌学会」の3学会から「がん検診協議会」を創設され、その後、賛同された「日本腎泌尿器疾患予防医学研究会」「日本乳がん検診学会」「日本小児がん学会」「日本医学放射線学会」が参加して計7学会により、平成6年「日本がん検診・診断学会」を設立されています。日本大学消化器肝臓内科(旧第三内科)学教室からは、創設者のお一人である有賀槐三先生以下2名の会長を輩出しており、日本がん検診・診断学会の今日の発展に多大な功績を残されています。初代、第4代教授の果たされたご功績に恥じることはないよう、医局員一同尽力する所存でございます。

本学術集会は、テーマを「がん検診・診断の現状と今後」といたしました。がん検診の現状を踏まえて、今後検診に活用される新しいモダリティを明確にし、将来を見据えたがん検診のあり方について討議できればと考えております。今日分子生物学的な新しい手法が開発され、これらをごん検診に用いるべくさまざまな活動がなされており、がん検診への新知見が報告されつつあります。

これらを踏まえて本学術集会では、新しいモダリティを用いた今後のがん検診とそのあり方(精度管理)を中心にプログラムを設定しました。

特別講演1を久保充朗先生(理化学研究所)に、特別講演2を小俣政男先生(山梨県立病院機構(県立中央・県立北病院))にお願いいたしました。また教育講演1を田中純子先生(広島大学大学院医歯薬学総合研究科)に、教育講演2を濱島ちさと先生(国立がん研究センター 社会と健康研究センター)に、教育講演3を落谷孝広先生(国立がん研究センター研究所分子細胞治療研究分野)にお願いいたしました。

セミナー1は、「がん検診における消化器内視鏡のあり方」として、司会を芳野純治先生(藤田保健衛生大学消化器内科)、後藤田卓史先生(日本大学消化器肝臓内科)にお願いして、6名の演者の先生に講演をお願いしております。セミナー2は、「各領域における超音波検診の現状と今後の展開」として、司会を三原修一先生(みはらラ

イフケアクリニック)、片岡 健先生(広島大学大学院医歯薬保健学研究院)にお願いして、各領域の演者の先生方に講演をお願いしております。

一方、シンポジウムは、「各領域における高齢化社会に求められるがん検診」を設定いたしました。司会を一瀬雅夫先生(帝京大学医学部附属新宿クリニックがん検診センター)、金子昌弘理事長(東京都予防医学協会 保険会館クリニック)にお願いして、高齢化社会を見据えて何歳までをがん検診の対象とするのかなどについて議論したいと思っております。又、トランスレーショナルリサーチシンポジウムとして「ゲノミクス・メタボロミクスのがん検診への応用」を3名の先生方に講演をお願いしております。

ワークショップは、「がん検診と診療の連携はいかにあるべきか」について、司会を小野良樹先生(東京都予防医学協会)、河合 隆先生(東京医科大学病院内視鏡センター)にお願いして、議論したいと思っております。

パネルディスカッションは、「検診の有効性評価と精度管理」について、司会を斎田幸久先生(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科画像診断・核医学分野)、池田徳彦先生(東京医科大学第一外科)にお願いして、議論したいと思っております。

これらの主題や教育講演およびセミナーを通して、基礎研究よりがん検診への積極的な活用を促進できれば幸いです。一般演題は口演にて行う予定であります。

この先の新世代へ向けてのがん検診の道のりを歩み出すべく、多数の皆様のご参加をお待ちしております。

第24回日本がん検診・診断学会総会「がん検診・診断学会の現況と今後」

会 期 平成28年9月16日(金)・17日(土)
会 場 日本大学会館
東京都千代田区九段南4-8-24 TEL. 03-5275-8001
http://www.nihon-u.ac.jp/access_map/map/headquarters/

会 長 森山 光彦
日本大学医学部内科学系消化器肝臓内科学分野教授
事務局長 小川 眞広
日本大学医学部内科学系消化器肝臓内科学分野准教授

運営事務局

(株)勁草書房 コミュニケーション事業部内
担当:佐藤 樹/小森陽介
〒112-0005 東京都文京区水道2-1-1
TEL: 03-3814-7112 Fax: 03-3814-6904
E-mail: jacdd24@keiso-comm.com
大会HP: <http://keiso-comm.com/jacdd24/>

第24回
日本がん検診・診断学会総会
「がん検診・診断学会の現況と今後」

会 長 森山 光彦
日本大学医学部内科学系消化器肝臓内科学分野教授

会 期 平成28年9月16日 金・17日 土

会 場 日本大学会館
東京都千代田区九段南4-8-24
TEL. 03-5275-8110

第24回日本がん検診・診断学会総会 事務局
事務局長 小川 眞広

日本大学医学部内科学系消化器肝臓内科学分野内
〒112-8610 東京都文京区水道2-1-1
TEL. 03-3814-7111 FAX. 03-3814-6904

編集後記

今回、第24回日本がん検診・診断学会総会「がん検診・診断学会の現況と今後」のお知らせをさせていただきました。医療費削減の話題の多い昨今、がん検診は今後どのように進むべきなのか？を学会の場で大いにdiscussionできればと考えております。尚、学会期間中には当学会のがん検診認定医の試験を兼ねた講習会も実施いたします。試験の前に各7学会（消化器がん検診学会のみ消化管と超音波（肝胆膵）の2分野に分ける）から8演題の講義が行われ、受験者以外にも有料で聴講が可能となっています。とくに検診に従事する先生方からは、短時間の間に集中して「がん検診における“今”の知識の更新ができるため、日々の業務に即活かすことができる！」と好評をいただいております。今年は学会2日目の9月17日（土）を予定しております。

まだ、残暑が残ることが予想される頃ですが、市ヶ谷駅からすぐの日本大学会館が会場でありますので是非奮っての参加をお待ちしております。

小川真広（日本大学医学部内科学系消化器肝臓内科学分野 准教授）

特定非営利活動法人日本がん検診・診断学会メールマガジン

2016年8月2日発行 Vol. 5 No. 1

〒102-0072 千代田区飯田橋3-11-15 UEDAビル6F (株)クバプロ内

特定非営利活動法人日本がん検診・診断学会

編集発行：株式会社クバプロ

TEL：03-3238-1689 FAX：03-3238-1837

E-mail：npojimu@jacdd.org URL：http://npo.jacdd.org/